横須賀市IoT推進ラボ

事業の内容

事業目的・概要

- 横須賀市では、転出超過数が2013年で全国一となり、市内産業・経済関係者は、強い危機感を抱いた。この事実を新たな挑戦のトリガーとして、「ヨコスカバレー構想実現委員会」を設立。各ユニットでは、成果品の製品化・事業化を進めるとともに、市内農・漁・観光・製造業関係者等と協働する複数の新ユニットを設置し、 IoTを駆使したイノベーションの創出及び企業誘致を促進することにより、雇用の増をベースとした人口増に取り組む。

重要業績評価指標（KPI）

- ユニット活動の成果の製品化・事業化を進めるとともに新たなユニットを立ち上げ、新規会員企業へ参画メリットを提示。平成37年までに５件以上の製品化・事業化を実現し、100社の参画と市内雇用ベースで100億円の経済効果と人口増を目指す。

今後の展開

- 会員数に応じた会費の増収を図るとともに、プレイヤーである会員企業が各ユニットの成果の事業化を進め、その売上に応じた拠出を求めることで、事業財源を確保し自立化を目指す。

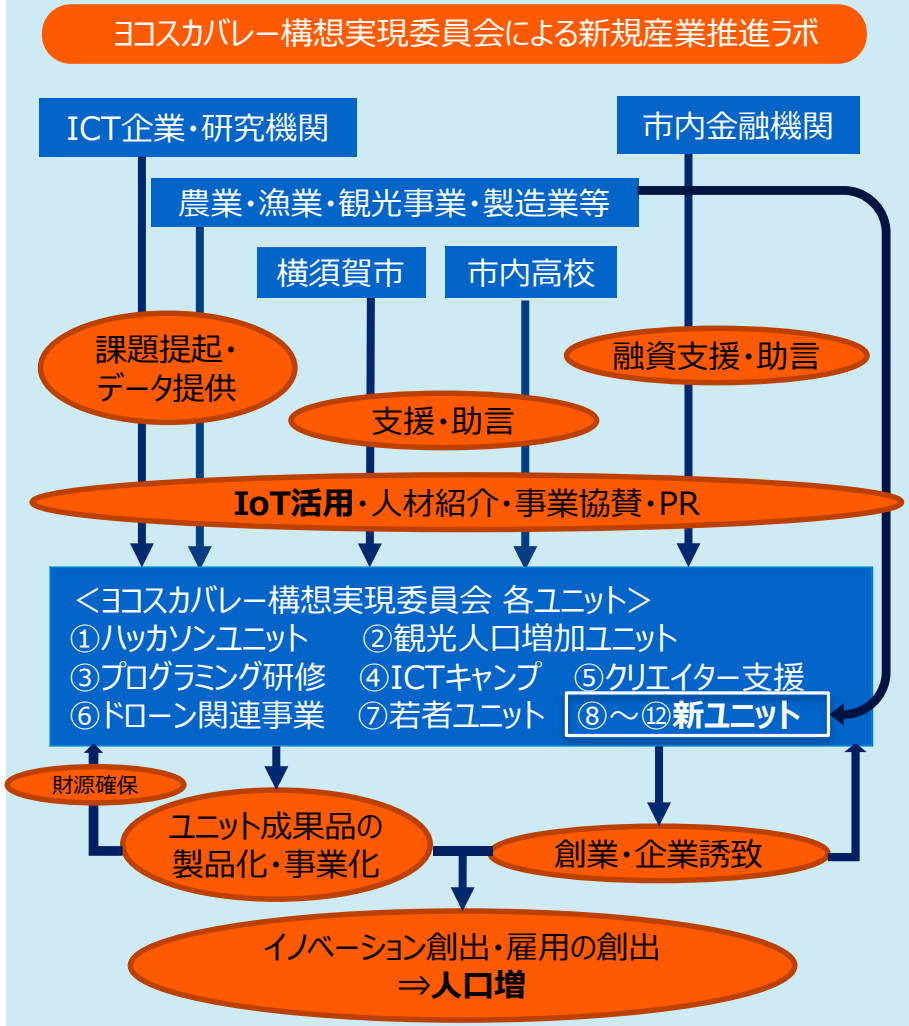
事務局

- 公益財団法人　横須賀市産業振興財団

参加プレイヤー

- 横須賀市経済部
- 市内ICT企業等
- 市内農業・漁業・観光事業・製造業関係者等
- 市内金融機関
- 市内高等学校
- 市内研究機関

事業イメージ



事務局（公益財団法人　横須賀市産業振興財団）

PR（事業デモンストレーション）、事業化支援、予決算管理